

令和7年6月10日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和6年度（第17期）決算について（お知らせ）

標記の件について、下記のとおり決算が確定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算概要

- 輸送人員…118万2,442人（開業以来過去最多）
- 旅客運輸収入…1億9,345万1,089円（前年度比3.7%の増、令和元年度の95.8%）
- 単年度収支…△658万円（前年度△713万円から改善）

令和6年度の事業については、国・県・市の支援を受けながら、車両の更新や観光列車の導入・鉄道施設及び保有車両の計画的な整備により安全性を確保するとともに、沿線住民及び関係団体等と連携を図り、単年度収支の均衡を目標に、輸送人員及び旅客運輸収入の増加に努めてまいりました。コロナ禍前の水準には至りませんが、輸送人員、営業収入ともに回復基調で順調に推移しており、黒字化に向けて助走をつける年となりました。

輸送人員について、通勤定期は、前年度に比べ0.8%減の16万9,010人、通学定期は、前年度に比べ2.0%減の58万7,460人となり、定期旅客全体では、前年度に比べ1.7%減の75万6,470人とやや減少となりました。

定期外旅客については、国営ひたち海浜公園やおさかな市場等への観光需要の回復が見られ、前年度に比べ6.8%増の42万5,972人となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた年間輸送人員は、前年度に比べ1.2%増の118万2,442人となり、開業以来最多となりましたが、美乃浜学園の通学輸送（年間約26万2,000人）を除くと92万242名となり、令和元年度の輸送人員の86.8%となりました。

旅客運輸収入については、定期外利用客の回復により、前年度に比べ3.7%増の1億9,345万1,089円となり、令和元年度の95.8%まで回復しました。運輸雑収を含む営業収益全体では、前年度に比べ約660万円増の2億5,658万7,217円（令和元年度比1,597万円減、94.1%）となりました。

営業費については、車両検査対象車両の増加に伴う修繕費や、給料引き上げによる人件費、昨今の物価高騰による内燃動力費及び水道光熱費、シャトルバス運行費の増加により、営業費全体では、前年度に比べ2,837万円増の3億3,469万5,298円となりました。

この結果、営業損益は、△7,810万8,081円、営業外損益を含む経常損益は、△7,420万5,920円となり、国、県、市からの補助金収入を差し引いた税引き後の当期純損益は、△658万円90円となり、額は縮小したものの前年に引き続き赤字を計上しました。

なお、取締役3名につきましては、重任となりました。

2. 輸送人員

(単位：人)

	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
令和 5 年度	170,332	599,172	769,504	398,740	1,168,244
令和 6 年度	169,010	587,460	756,470	425,972	1,182,442
対前年度比	99.2%	98.0%	98.3%	106.8%	101.2%

3. 営業収益

(単位：千円)

	定期旅客			定期外 旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
令和 5 年度	27,807	47,961	75,768	110,843	186,611	63,373	249,984
令和 6 年度	28,297	46,223	74,520	118,931	193,451	63,136	256,587
対前年度比	101.8%	96.4%	98.3%	107.3%	103.7%	99.6%	102.6%

4. 収 支

(単位：千円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増減
営業収益	256,587	249,984	6,603
営業費	334,695	306,324	28,371
営業損益	△78,108	△56,340	△21,768
営業外収益	3,908	1,214	2,694
営業外費用	6	323	△317
経常損益	△74,206	△55,450	18,756
特別利益	273,429	119,300	154,129
特別損失	205,468	70,650	134,818
税引前当期純損益	△6,245	△6,800	555
法人税、住民税及び事業税	335	335	0
当期純損益	△6,580	△7,135	555

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、後藤、大重
☎029-262-2361